

みどりの風

(令和3年度 第14号)
令和3年11月19日
校長 山本 哲哉

(URL) <http://www.ginzado.ne.jp/~k-iskwj/> (E-mail) k-iskwj@educet.plala.or.jp

自分の目標・計画づくりは家の人といっしょに



今年も、残り約40日(2学期の授業日は11/22を入れて残り23日)となりました。月日が過ぎるのは早いものです。12月2日の全校集会では、次のような話をしようと思います。

今年も残り約1か月となりました。2学期に(今年)学校に来る日は今日を入れて16日です。2学期のはじめに立てた「こんな自分になりたい」という目標の達成状況はどうですか。

メジャーリーガーの大谷選手は、10年前に出会った高校の佐々木監督さんの指導の下、「目標達成シート」を書きました(マンダラシート・チャートともよばれる)。シートには9×9の合計81個のマス目がある。一番の中心に「大きな目標」を記入し、そのマス目を囲む8つにはその目標達成に必要な要素を埋めました。大谷選手は中心のマスに「ドラ1、8球団」と書き、囲む8つには、「身体づくり」「メンタル」「スピード160km」「運」「人間性」などと書きました。「身体づくり」のために「食事夜7杯、朝3杯」、「運(を勝ち取る)」のために、「あいさつ」「ゴミ拾い」「道具を大事に使う」「プラス思考」などで囲みました。技術的なことだけでなく、佐々木監督の「不運を嘆くよりも運をつかむ努力をしろ(運は、運をつかむために自らをコントロールしている人のもとにしか来ない)」という教えもあったでしょう。実際に、今シーズンの6月、四球で一塁方向に歩き始めた際、落ちていたゴミをさりげなく拾いポケットに入れた姿は、「一流の振る舞いだ」と絶賛されました。目標を立て、実行に移し、自己実現(夢)を達成してきている大谷選手の活躍と賞賛は、TVやマスコミで紹介されているとおりです。

でも、みんなが目標を立てることは、なかなか難しいのも事実です。どんな目標を立てると良いのでしょうか。4つのポイントを紹介します。

- ① 将来や、次(の学期・学年)になりたい自分を想像しながら決める。
- ② 「～をがんばる」ではなく、具体的に書く。
* 1日〇ページ * 〇日にやる * どこで(を)やるか書く。
- ③ 少し頑張れば(こつこつやれば)できる内容(もの)にする。
- ④ 家の人に見てもらおう(やっている姿、やったもの)。* 記録に残す * 努力をみてもらおう。



「自分に合った冬休みの計画(目標)をしっかりとつくる(決める)こと」(おうちのひと)

をお願いしたいのです(役割: 大谷選手=みんな、佐々木監督=おうちの大人)。

あと4か月で、みんなは1つ学年が上がり、「進級」します。6年生は「卒業」し、中学生になります。進学・進級といった素敵なことがあるみんなには、自分を成長させてほしい。大人になる道を歩んでいる君たちには、小学生のうちに目標を達成したという経験を積んでほしい。3学期、そして3月に、それぞれが伸びたところ・達成できたことを学級のみんなや家族と確認し合って、新しい学年に進んでほしいと思っています。目標が達成されればされるほど、自信と笑顔あふれる小学生になれるのです。



【いずみっ子の活躍】

【新大全国読書大会】

* 特選: (4年) * 準特選: (2年) (5年)

【加茂市美術展ジュニア部門】(書道部門)

* 市長賞: (2年)
* 奨励賞: (2年) (5年) (6年)

【加茂市美術展ジュニア部門】(絵画部門)

* 奨励賞: (6年) (6年)

